



中田中だより

令和5年 11 月号

横浜市泉区中田北2丁目 20 番1号 電話 803-3771 FAX805-4698

(11月16日発行)

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nakada/>

横浜市立中田中学校

校長 赤堀 貴



皆で祝えた創立50周年



学校長 赤堀 貴

10月21日に創立50周年式典、祝賀会が盛大に行われました。当日は、正門に「50」の数字をメインにしたバルーンのアーチが設置され、登校時からお祝いのムードが感じられました。「生徒が主役の創立50年」のコンセプトで開催された行事でした。生徒の手によって創られた作品やパフォーマンスは、若さが溢れ、ユニークな発想がたくさんあり、笑顔になれる楽しいものでした。

式典で私からは、50周年という大きな節目に関わることになった生徒の皆さん、「つながり」「仲間を大切に」「平和」の3つのキーワードをもとに、お話しさせていただきました。

中学生になったばかりの時は何も分からず、特に3年生の先輩の姿がお手本になるものです。その3年生も、1年生だった時は同じように先輩を頼りにしていました。3年生がお手本にした先輩は今17歳、17歳の方たちの先輩は19歳、19歳の方たちの先輩は21歳と「つながって」います。本校の卒業証書第1号の方は昭和33年生まれで今年65歳です。65歳の先輩から現役の皆さんまで、先輩と後輩の「つながり」が続いているのです。先輩を見習い、教えてもらい、覚えてできるようになり、今度は教える立場になる、この「つながり」が50年続いてきました。その人数は昨年度までの卒業生数で13,618名になります。皆さんもこの「つながり」の一人となっているのです。

学校が存続するには、人がいなければなりません。子どもがいなければならなりません。人が集まり、子どもを安心して育てられる街作りを、この地域の方々が尽力し達成してきました。そのおかげで本校も存続し、50周年を迎えることができました。

街も、学校も大勢の人がいますから、うまくいかないこともあります。トラブルが生じたときに大切なのは、それを解決しようと努力することです。よく話し合うことが必要です。自分が悪いときは素直に謝り、相手が悪いときも、反省を受け入れ仲直りする寛容さをもつこと、そして次につなげていくことが大切です。

残念ながら世の中では、話し合っ解決すること、寛容になることができず、暴力に走り、事件になってしまうことがあります。世界に目を向けると、今、まさに戦争を起している現実もあります。戦禍に苦しむ小さな子どもの映像を見ると、心が痛みます。戦争で幸せになる人は一人もいません。

中田の街で育ち、同じ学校に通う私たちは「仲間」です。中田の街で、中田中学校で「つながった」「仲間を大切に」しましょう。皆さんの力で、中田を、日本を、世界を、明るく楽しい、幸せいっぱい「平和」なものにしていってください。

この50周年記念事業実行委員会の皆さんは地域の方で、卒業生であったり、卒業生の保護者だった方々です。人と人との「つながり」が一つのものを作りあげ、この記念行事のように、大きな成果をあげることができます。皆さんも「つながり」を大切に、「仲間を大切に」し、「平和」が維持される世の中を作っていきましょう。

本校が100周年を迎えるとき、皆さんは63・64・65歳になっています。皆さんの中から100周年記念行事に中心となって携わってくれる人がいると嬉しいです。

【50周年記念式典】

10月21日（土）に「創立50周年記念式典」が本校体育館にて行われました。



生徒が制作した「これまでの50年」をテーマにしたオープニング映像でスタートし、その後、記念式典実行委員長、校長先生、区長、PTA会長、連合自治体会長、教育委員会次長、生徒会長のあいさつがありました。



中盤では、放送委員制作の「校歌」のミュージックビデオを放映、そして吹奏楽部が「50周年記念メドレー」を発表し、会場を盛り上げました。

最後は、「これからの50年」をテーマにしたクロージング映像でした。

生徒による50周年記念式典、とても素敵でした。生徒たちの思いが50年後の100周年までつながりますように。



【文化発表会 展示】

10月23日～27日の一週間、各教科や部活の作品などの展示発表を行いました。



【小中児童生徒交流会】

毎年行われている「小中児童生徒交流会」が今年も行われました。生徒会からの説明、授業参観、部活動体験と続きました。先輩としての立ち居振る舞いが素晴らしかったです。

